

特集

子どもたちが 国見町の将来を 考える

平成30年度
国見町子ども議会

平成30年度

国見町子ども議会

国見町で初めてとなる「平成30年度国見町子ども議会」が10月30日に行われ、「国見町子ども議員」の6人が、まちづくりに関する質問や提案をしました。

今回の「国見町子ども議会」には、国見小学校の6年生全児童が参加し、事前に一般質問の内容を考えました。本会議の一般質問では、代表して6人の子ども議員が登壇。町をより良くするためのさまざまな提案や、まちづくりに関する内容について質問し、太田久雄町長や担当課長が一つ一つ丁寧に答弁しました。

町の将来を真剣に考えた子どもたちの声に、町も本気で向き合い、真摯な答弁が繰り返された「国見町子ども議会」。「子ども目線」を共有し、子どもたちと一緒にまちづくりを考える貴重な機会となりました。

**子どもたちが自分の目線で
まちづくりを考える**

な発想や視点で考え質問することで主体性を育み、心身ともに健康で人間性豊かに成長する一助とすること、③子どもたちからの町に対する要望や意見について、今後の町政の参考とすることを目的としています。

「国見町子ども議会」は、①町の将来を担う子どもたちが、自分たちが暮らす地域のまちづくりに関心を高め、将来にわたりまちづくりへの参画意欲を醸成すること、②まちづくりを自由

「子ども議会」とは

子どもたちが町議員（子ども議員）となり、普段の生活で疑問に感じていることを質問したり、学校で学んだことを活かして、より良い町にするためのアイデアを考え、町に意見や提案を行う、町議会本番さながらの模擬議会です。

10月30日の国見町議会議場。議会の開会を宣言するのは、議長席に座る国見小学校6年生の遠藤真奈さん。議員席には、少し緊張した表情で座る6人の「子ども議員」の姿があります。この日、町で初めてとなる「平成30年度国見町子ども議会」が行われました。

「これより、平成30年度国見町子ども議会を開会いたします。」